



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4044 URL http://www.cgco.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清水 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営管理室長 (氏名) 宮内 徹 TEL 03-3259-7062  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	45,077	△16.8	424	△75.6	1,260	△39.0	609	△54.1
2020年3月期第1四半期	54,152	△2.6	1,737	△3.2	2,065	△19.4	1,326	△24.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 3,020百万円 (886.9%) 2020年3月期第1四半期 306百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	15.05	-
2020年3月期第1四半期	32.79	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	309,693	165,686	52.5
2020年3月期	296,427	164,339	54.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 162,472百万円 2020年3月期 161,006百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	37.50	-	37.50	75.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	37.50	-	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	84,500	△22.9	△1,000	-	△1,200	-	△2,000	-	△49.42
通期	186,000	△16.4	1,500	△81.2	1,500	△82.5	1,500	△76.6	37.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期1Q	42,975,995株	2020年3月期	42,975,995株
2021年3月期1Q	2,506,312株	2020年3月期	2,506,153株
2021年3月期1Q	40,469,828株	2020年3月期1Q	40,470,828株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、景気は急速に悪化し極めて厳しい状況となっております。

世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界同時不況に陥っており、全世界的にマイナス成長が予測される中、貿易摩擦に端を発した米中対立がより広範囲に鮮明になるなど、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は45,077百万円と前年同期比16.8%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前年同期比805百万円減少の1,260百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比717百万円減少の609百万円となりました。

### セグメント別の概況

#### (ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、建築需要の減少に加えて、工期の遅れ及び一部の産業用途向けの販売減に加え、米国建築用加工ガラス事業からの撤退により、売上高は対前年同期で大幅に下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各自動車メーカーが生産抑制、生産一時停止を行ったため、前年同期を大幅に下回り、海外も新型コロナウイルス感染症の影響などにより、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

ガラス繊維につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特に自動車分野を主用途とする短繊維の販売が大幅に減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は26,782百万円（前年同期比24.8%減）となり、損益につきましては1,333百万円の営業損失（前年同期比1,309百万円の悪化）となりました。

#### (化成品事業)

化学品につきましては、主力のハイドロフルオロオレフィン製品が、次世代溶剤の販売は順調に推移したものの、断熱用発泡剤が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、出荷量が大きく減少したことから、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、半導体メモリ市場の回復により、半導体用途の特殊ガス関連製品の出荷が増加し、医薬品関連製品、農薬関連製品、リチウムイオン電池用電解液製品の販売も好調に推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、一部製品の需要が減少したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

以上、化成品事業の売上高は18,295百万円（前年同期比1.4%減）となり、損益につきましては1,758百万円の営業利益（前年同期比2百万円の減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、売上債権が9,205百万円減少する一方、株価の上昇などで投資有価証券が5,027百万円増加したほか、新型コロナウイルス感染症拡大による影響に備えた借入の実行などで現金及び預金が19,647百万円増加したことなどにより、13,266百万円増加し309,693百万円となりました。

負債は仕入債務が1,767百万円減少する一方、借入の増加などで有利子負債が14,991百万円増加したことなどにより、11,918百万円増加し144,006百万円となりました。

純資産は為替換算調整勘定が1,352百万円減少する一方、株価の上昇などでその他有価証券評価差額金が3,505百万円増加したことなどにより、1,347百万円増加し165,686百万円となりました。また、自己資本比率は1.8ポイント減少し52.5%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,256	45,903
受取手形及び売掛金	50,933	41,727
商品及び製品	29,687	30,985
仕掛品	4,605	4,470
原材料及び貯蔵品	18,440	19,362
その他	5,441	4,218
貸倒引当金	△717	△196
流動資産合計	134,646	146,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,987	29,455
機械装置及び運搬具（純額）	51,054	49,322
土地	25,629	25,603
建設仮勘定	5,452	5,903
その他（純額）	4,694	4,523
有形固定資産合計	116,818	114,808
無形固定資産		
その他	1,619	1,567
無形固定資産合計	1,619	1,567
投資その他の資産		
投資有価証券	34,231	39,258
その他	9,241	7,717
貸倒引当金	△130	△129
投資その他の資産合計	43,342	46,846
固定資産合計	161,780	163,222
資産合計	296,427	309,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,779	19,011
短期借入金	14,399	16,181
未払法人税等	391	192
賞与引当金	1,424	480
その他	31,577	31,688
流動負債合計	68,572	67,554
固定負債		
社債	30,400	30,400
長期借入金	16,310	29,599
役員退職慰労引当金	3	3
特別修繕引当金	6,668	6,799
事業構造改善引当金	1,846	1,689
環境対策引当金	22	36
顧客補償等対応費用引当金	5	4
退職給付に係る負債	5,881	6,068
その他	2,377	1,851
固定負債合計	63,515	76,452
負債合計	132,088	144,006
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	132,418	131,509
自己株式	△6,398	△6,398
株主資本合計	152,297	151,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,501	14,007
繰延ヘッジ損益	△407	△211
為替換算調整勘定	△1,735	△3,088
退職給付に係る調整累計額	350	375
その他の包括利益累計額合計	8,708	11,083
非支配株主持分	3,332	3,214
純資産合計	164,339	165,686
負債純資産合計	296,427	309,693

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	54,152	45,077
売上原価	43,072	36,237
売上総利益	11,079	8,840
販売費及び一般管理費	9,342	8,415
営業利益	1,737	424
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	519	413
持分法による投資利益	42	64
受取保険金	53	1,060
その他	405	301
営業外収益合計	1,034	1,850
営業外費用		
支払利息	167	115
為替差損	241	69
災害による損失	25	549
その他	270	280
営業外費用合計	705	1,014
経常利益	2,065	1,260
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
事業構造改善費用	—	63
特別損失合計	—	63
税金等調整前四半期純利益	2,065	1,196
法人税等	639	471
四半期純利益	1,426	725
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	115
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,326	609

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,426	725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,015	3,504
繰延ヘッジ損益	△109	195
為替換算調整勘定	△67	△1,327
退職給付に係る調整額	20	25
持分法適用会社に対する持分相当額	50	△104
その他の包括利益合計	△1,120	2,295
四半期包括利益	306	3,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198	2,983
非支配株主に係る四半期包括利益	107	36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響について)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の第2波発生の懸念はあるものの、再度の緊急事態宣言の発出などによる社会的制限には至らず経済活動は停止しないが、経済の回復も緩やかなものとどまるという前提のもと、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損処理などの会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- 1 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,593	18,559	54,152	—	54,152
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	292	295	△295	—
計	35,596	18,851	54,447	△295	54,152
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△23	1,761	1,737	—	1,737

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

- 2 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,782	18,295	45,077	—	45,077
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	230	233	△233	—
計	26,784	18,525	45,310	△233	45,077
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△1,333	1,758	424	—	424

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。